

2019年G20サミット農業大臣会合開催に係る

組織の立ち上げについて

1 「新潟市G20サミット開催推進本部」

G20農業大臣会合の円滑な実施を図るための、全庁を挙げた連携組織

○主な所掌事務

- ・総務・広報
- ・危機管理
- ・機運醸成・魅力発信
- ・環境整備

○設置時期

本日設置済み

2 「2019年G20サミット推進課」

G20農業大臣会合の開催を推進するための事務局

○体制

- 総務班（推進組織の運営，国との窓口など）
- 開催支援班（宿泊調整，輸送・交通，警備・危機管理など）
- ホスピタリティ班（歓迎行事，レセプション，会場展示・装飾など）
- 広報・PR班（広報・PR，関連イベント，プレス対応など）

○設置時期

本日，地域・魅力創造部内に設置済み

3 「(仮称)G20農業大臣会合新潟開催推進協議会」

G20農業大臣会合の成功を期するため，県民・市民とともに協力，支援を行うための推進組織

○主な構成メンバー

- 県選出国會議員
- 関係機関・団体（行政機関・団体，農業・食，運輸・交通，国際・観光・宿泊，マスコミなどを想定）

○設置時期

5月中を予定

【お問い合わせ先】

2019年G20サミット推進課 中川
TEL 025-226-2142

配布資料

平成30年4月5日
新潟市公園水辺課

寺山公園・子育て交流施設「い～てらす」のオープンについて

- 趣 旨 東区寺山において整備を進めてきた寺山公園が、いよいよオープンする。年間通して子ども・子育ての拠点ともなる、これまで新潟市には無かった新しいタイプの公園となる。
- オープン日 平成30年4月7日(土)
※遊具等の屋外施設は竣工記念式典終了後、利用可
子育て交流施設「い～てらす」は、当日見学のみ
※「い～てらす」は4月8日より利用可(オープン)
- 所 在 地 新潟市東区寺山1653番地
- 公園種別 地区公園
- 開設面積 46,000㎡ (「い～てらす」延べ床面積 1,357㎡)
- 主な施設 子育て交流施設「い～てらす」、ちびっこ広場、わんぱく広場、多目的広場、芝の広場、遊具(大型複合遊具等)、東屋 ほか

お問い合わせ先

新潟市公園水辺課企画係 (長谷部)

電話025-226-3065(直通)

寺山公園

1.公園事業概要

寺山公園のコンセプト「緑に囲まれた健康・交流・子育ての場」を基に東総合スポーツセンター等の周辺施設と連携し、多様な健康レクリエーション広場ならびに多世代の交流の場を創出し、地区住民の憩いの場を提供する施設として、年間を通して利用できる寺山公園子育て交流施設と公園利用者の休憩施設からなる複合施設を整備し、乳幼児から小学校低学年までの児童の安心安全な活動、子供や保護者の多様な交流、公園の機能との連携や地域の力の活用を図る。

2.公園概要

- 公園場所 : 新潟市東区寺山 地内
- 公園面積 : A=4.6ha
- 総事業費 : 約 26 億円
- 施設整備 : 園路、広場、トイレ、遊具、子育て交流施設
- 防災設備 : 防災テント (東屋, ブランコ), かまどベンチ : 5 箇所, 防災トイレ : 5 箇所

3.寺山公園子育て交流施設概要

- 建物規模 : 鉄骨造 平屋建て (一部 2 階建て)
- 延べ床面積 : A=1357.79㎡ (1階 1331.73㎡ 2階 26.06㎡)

4.公園平面図



▼寺山公園上空写真



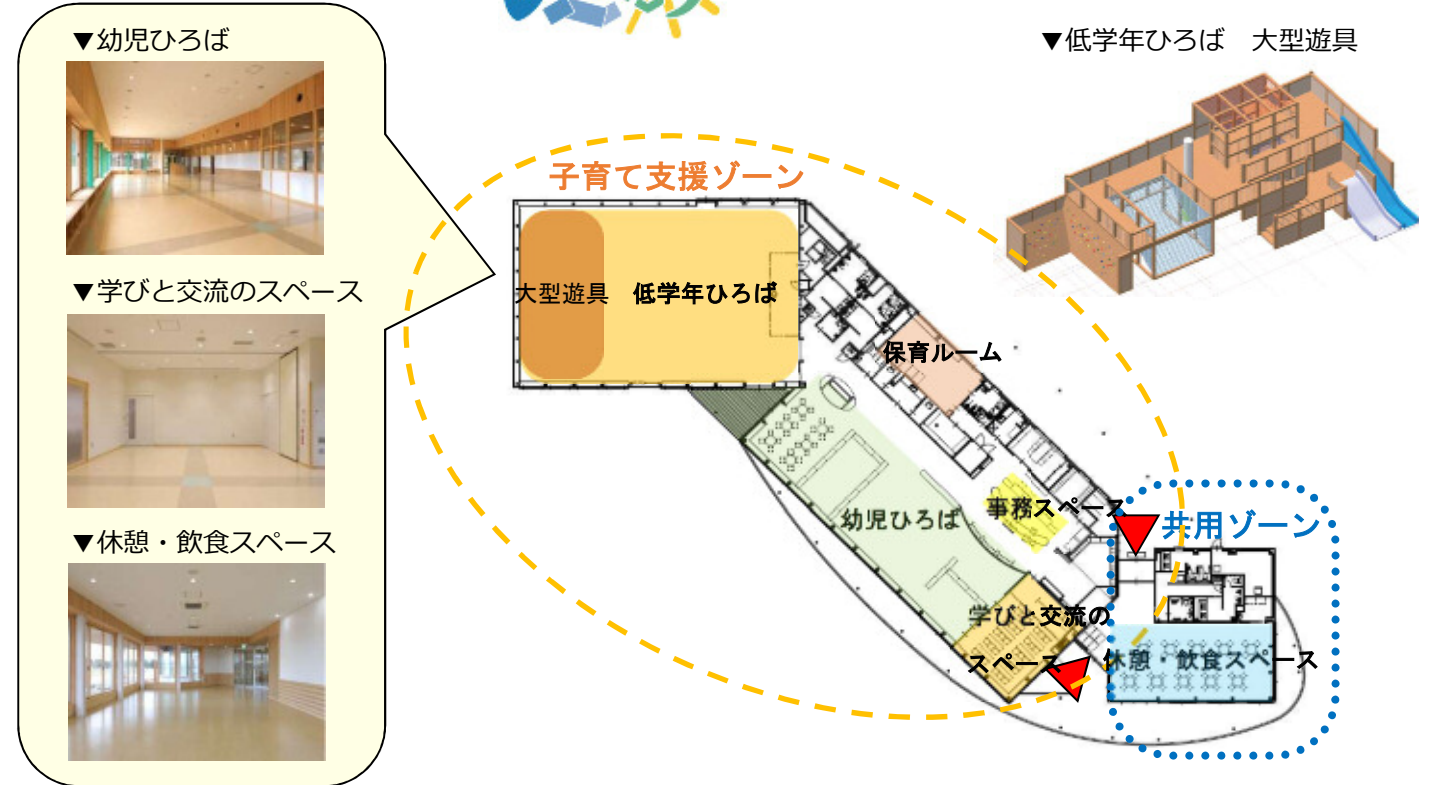
▼い〜てらす



▼大型複合遊具



5.寺山公園子育て交流施設



▼幼児ひろば



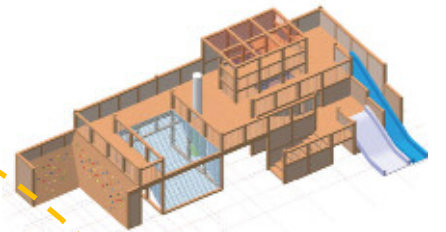
▼学びと交流のスペース



▼休憩・飲食スペース



▼低学年ひろば 大型遊具



幼児ひろば	乳幼児と保護者を対象としたエリア (おもちゃ、絵本、小型遊具などを設置)
低学年ひろば	小学校低学年までを対象としたエリア (滑り台、ネットクッキング、ボルダリングなどを備えた大型遊具を設置)
保育ルーム	小学校就学前の子どもを対象に一時預かりを実施
休憩・飲食スペース	公園利用者も含む全年齢を対象としたエリア

平成30年4月5日
新潟市政策調整課
新潟市観光政策課

東日本旅客鉄道株式会社からの
「企業版ふるさと納税」による寄附目録の贈呈について

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の対象事業として、このたび「新潟駅から始まる食の観光まちづくり事業～新潟ストーリープロジェクト～」が国の認定を受け、このプロジェクトに対し、東日本旅客鉄道株式会社から寄附の申し出をいただきました。

つきましては、寄附目録の受領と感謝状の贈呈を下記のとおり行いますので、広報活動にご協力くださいますようお願いいたします。

※企業版ふるさと納税とは、地方公共団体が実施する地方創生事業（まち・ひと・しごと創生寄附活用事業）に対して民間企業が寄附を行った場合、寄附に伴う税負担の軽減効果が従来の倍になる制度。

記

- 1 日時 平成30年4月6日（金）10：30～11：00
- 2 会場 新潟市役所本館3階 秘書課 市長応接室
- 3 出席者 東日本旅客鉄道株式会社
執行役員新潟支社長 今井 政人 様
新潟支社 営業部長 辻本 健二 様
新潟支社 事業部長 中野 博 様
新潟市長 篠田 昭

【参考】寄附対象事業の概要及び寄附申出企業

○事業概要

「新潟駅から始まる食の観光まちづくり事業～新潟ストーリープロジェクト～」

本市が誇る豊かな自然や食、伝統文化等の魅力ある観光資源がストーリーでつながる一体感のある観光エリアを形成するとともに、観光コンテンツや地域商品の開発、二次交通の整備等を行うことで、さらなる交流人口の拡大を図る。

○寄附申出企業

東日本旅客鉄道株式会社 様 （平成30～31年度 2か年）

【担当・問い合わせ先】

（地方創生応援税制について）

新潟市地域・魅力創造部政策調整課

担当：田代 電話：025-226-2066

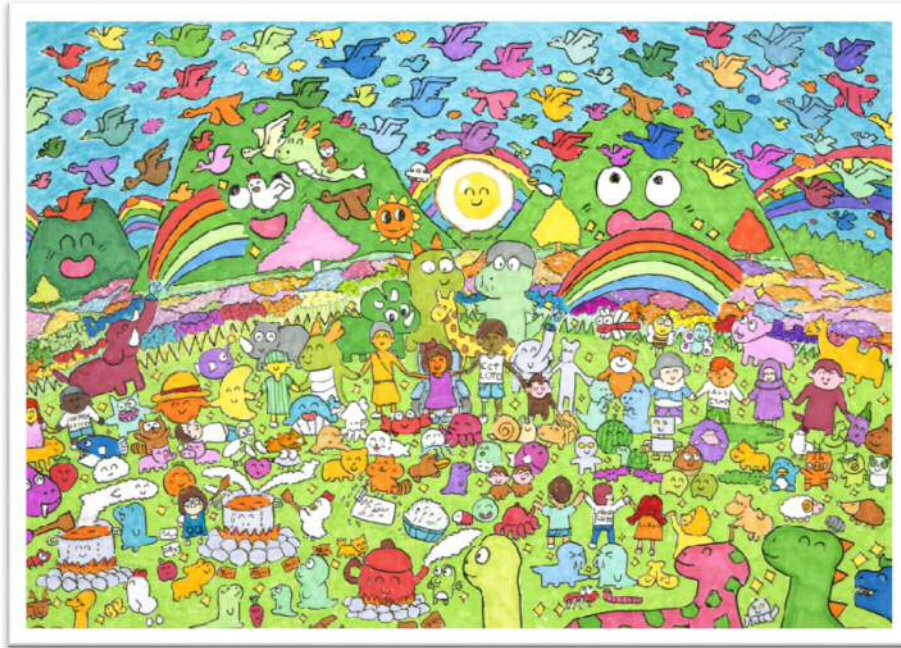
（寄附対象事業について）

新潟市観光・国際交流部観光政策課

担当：真島 電話：025-226-2608

新潟駅万代広場・市役所前BRT乗り場に障がい者アートを展示

～ にいがたを色とりどりの感性があふれる街に ～



新潟市では、「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」に基づき、障がい等を理由とした差別を解消し、障がいへの理解を深めるため、「ともにプロジェクト」を実施しています。

このたび「ともにプロジェクト」の一環として、多くの人が利用するバス停という公共空間に、障がいのある方が描いたアート作品を展示し、障がい者アートを通じて、障がいのある人の活動について知ってもらうため、新潟駅万代広場と市役所前BRT乗り場に障がい者アート6作品を展示しています。

2019年に迎える開港150周年に向けて、本市の地域性豊かで多様性に富んだ文化や魅力を全国に発信するため、広報にご協力くださいますよう、お願いいたします。

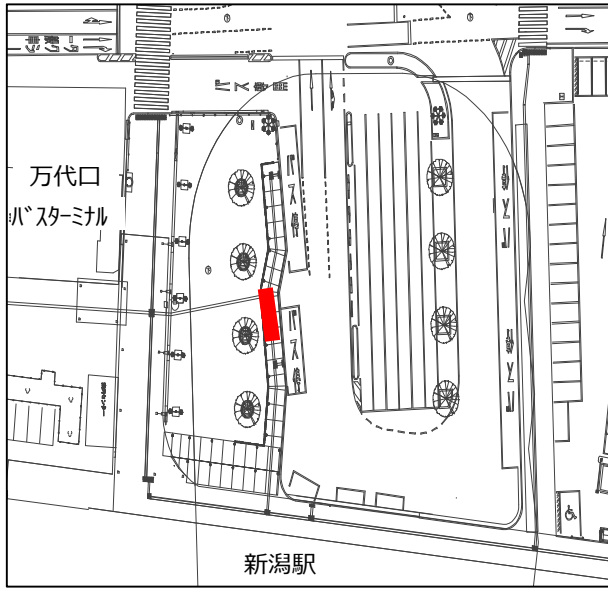
■ 展示期間 2018年4月 ～ 2019年12月 （開港150周年記念事業期間終了まで）

■ 展示場所 新潟駅万代広場及び市役所前BRT乗り場

■ 共催・後援 共催：まちごと美術館 cotocoto
後援：JR東日本新潟支社、新潟交通株式会社

【担当・問い合わせ先】 新潟市福祉部障がい福祉課 担当：佐藤
TEL：025-226-1248／FAX：025-223-1500／Mail：shogai.wl@city.niigata.lg.jp

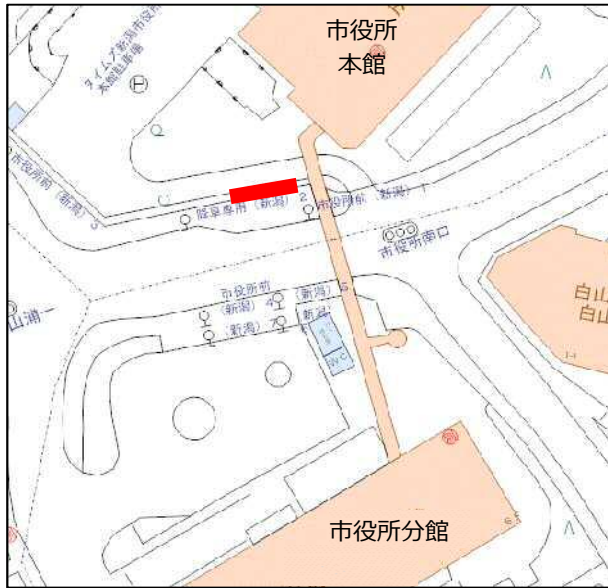
(新潟駅万代広場)



※萬代橋ライン (BRT) 青山ゆき 付近



(市役所前)



(道路側)



(市役所本館側)

■ 展示作品

上段 … 作品名 下段 … 作者名

新潟駅万代広場前

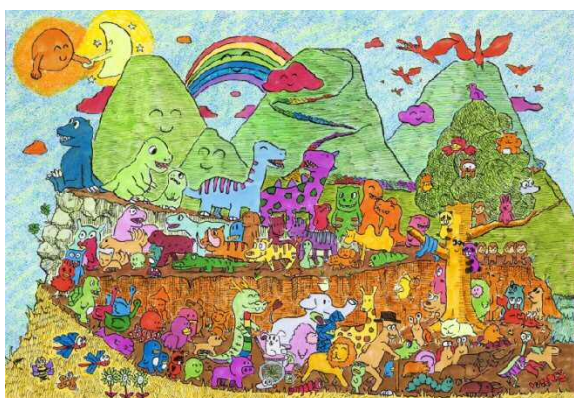


「SAGATA2018」
しゅんすけ



「難崖富士山」
石栗 仁之

市役所前



「SAGATA2015」
しゅんすけ



「にいがたしをかいたよ」
しゅんすけ



「はっけよい」
小田 潤



「花と蝶」「いろんな花」
「トーテムポール」「きのこの中花いっぱい」
さんろーど